

学校だより はなみずき

太田市立藪塚本町南小学校

平成26年9月17日(水) 第10号

3・4・5年生が大根・ジャガイモを植えました



9月10日、学校農園でおやじクラブ等の方々の協力を得ながら、3・5年生が大根の種を、4年生がジャガイモの種芋を植えました。農業体験の一環としての体験学習であるとともに、大根は11月8日(土)にPTA行事として行われる芋煮会の食材として、ジャガイモは給食の食材として活用します。子どもたちは、作業前の植えつけの説明を真剣に聞いた後、慎重に種や種芋を植えていました。事前に畑を耕し、整地していただいた方々に感謝するとともに、2ヶ月後の収穫を今から楽しみにしたいと思います。



3年生



5年生



4年生

運動会の練習が順調に行われています

27日に実施予定の運動会の練習が、各学年、団、全体とも順調に行われています。本校での運動会が初めての1年生も、戸惑いながら徒競走や演技、遊競技等に一生懸命に取り組み、日増しに動きの正確性が高まってきています。今年度は、たてわりの団が人数の関係で昨年度の4団から3団へと変更になりましたが、6年生を中心に各団の団結力や結束力が徐々に向上してきています。運動会当日の活動を是非とも期待していただければと思います。



家庭学習のすすめ ～「家庭学習の手引き」の積極的な活用を～

今年度の第1回学校評価アンケートを7月に実施いたしました。回答にご協力いただきありがとうございました。その結果の詳細については後日配布いたしますが、家庭学習に関する項目で、「家庭で（自主的に）学習したり本を読んだりしていますか」の問いに児童自身は約73パーセント、保護者の方が約66パーセントの方が肯定的な評価をしています。この結果に関しては昨年度とほぼ同様な結果でした。数字的にみると決して悲観的な数字ではありませんが、実際の子どもたちの日々の学習の様子や家庭での保護者の方の認識からすると、十分満足のいくものではありません。また本校では80パーセント以上を目標にしていますので、まだまだ改善する必要があると思います。小学校6年間で学習に対する意識を高め、自主的な学習が習慣化すると中学・高等学校等へ進学してもスムーズに学校生活を送ることができ、自分の目標とする進路実現の可能性を高めることができます。すでに各ご家庭に配布いたしました「家庭学習の手引き」をもとに、**復習**を中心とした学習を是非ともすすめられるよう声がけやご支援をお願いいたします。

10月の主な予定

- | | | | |
|----------|----------------------|--------|---------------------------|
| 10月1日（水） | P T A会費集金 | 17日（金） | 校外学習（4年）クラブ活動⑩ |
| 3日（金） | 委員会活動⑦ | 18日（土） | 土曜スクール（グランドゴルフ） |
| 5日（日） | 藪塚本町地区運動会 | 20日（月） | 校外学習（5年） |
| 6日（月） | 稲刈り（5年生） | 21日（火） | ふれあい活動 |
| 7日（火） | 全校集会 | 24日（金） | 就学時健康診断 |
| 8日（水） | 校外学習（1・2年） | 25日（土） | P T Aはなみずき陶芸教室 （こどもの国） |
| 10日（金） | 読み聞かせ（低学年） クラブ活動⑩ | 27日（月） | 演劇教室 |
| 12日（日） | 市民総体 | 28日（火） | 群馬県民の日 |
| 14日（火） | 児童集会⑤ | 31日（金） | 読み聞かせ（高学年） |
| 15日（水） | 市小学校陸上大会 | | |

雑感

モラロジー研究所が発行する「ニューモラル」9月号（No.541）に印象深い文章があったので紹介したいと思います。以下その引用です。

【そろばん哲学】

私たちの生活は、家族や友人、職場の同僚、近所の方など、常に多くの人たちとの関わり合いの中にあります。その意味で、私たちの幸福感は、そういった人たちといかに気持ちよく、温かく関わることができているかに大きく左右されるといえるでしょう。

例えば、誰かの幸せを減らすようなことをする人は、やがて周囲から疎まれ、過ごしにくくなっていくものです。逆に誰かの幸せを大きくしようとする人の周りには、よい人が集まり、その温かさに包まれながら幸せな毎日を送ることができるはずで

す。『次郎物語』『論語物語』などで知られる作家・教育者の下村湖人（1884～1955）は、その著作の中で、こうした人生の極意を「そろばん」にたとえた人の紹介をしています。

「引き算と割り算は、数の勘定に役に立つだけでもうたくさんです。人間と人間との関係に引き算や割り算があってはなりません。人生の営みは、すべて足し算とかけ算でいきたいものです。

」
人と関わるほどにマイナスの感情が引き出されたり、誰かの幸せが減ったりするような人間関係は、「引き算」や「割り算」であるといえるでしょう。

これに対して、お互いにとってプラスになるのが「足し算」の生き方であり、それ以上に創造的なのが「かけ算」であるといえます。「かけ算の人生になると、甲の人の力は、乙の人の中に、乙の人の力は甲の人の中に溶けこんで、おたがいに力を強めあうのです。つまり自分を忘れ、他を生かそうとするところに、二と三が五にならないで六になる、かけ算の秘密があるのです。」（前掲者）…以上引用

人はそれぞれ性格や能力、考え方、性別、年齢、生育環境等が違います。ですから、人によって合う、合わない、関わりが少ない、多いなどの関係性が出てくるのは当然です。しかし、どのように生活しようとも社会生活を営む以上人と関わらずに生きていくことはできません。自分の良さを生かしながら他の人の欠点ではなく良さに目を向け、互いにプラスの関係（願わくはかけ算の関係）を築けるようにしたいものです。

